



# 北海道議会議員

# 村木中

## 道を拓き、 岩見沢を豊かに。

### ごあいさつ

新しい年を迎え、皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 昨年の北海道を振り返りますと、大きな災害に見舞われた1年でありました。  
 台風21号ならびに北海道胆振東部地震で被災された皆さまに、改めてお見舞い申し上げます。自民党道連および道議会自民党・道民会議議員会は災害対策本部を立ち上げ、関係者一丸となった働きかけを行った結果、激甚災害指定、復興予算の確保が早期に決定し、定例道議会においても総額1133億円の地震対策費を含む補正予算を成立させることができました。引き続き、道民の皆さまが安心して暮らせる災害に強い地域づくりに全力で取り組んでいきます。

競争力の強化も不可欠です。秋には地域ブランド保護のための地理的表示(GI)制度が道産ワインに導入され、原料が道産ブドウ100%で、道内で製造・貯蔵・容器詰めされるなどの条件を満たした商品にのみ、「北海道」の表記が認められることになりました。所得向上につながる強みを生かした攻めの農政を進めています。

このほか、住民の皆さまを悩ませる除排雪の問題にも、関係機関との連携を図りながらしっかり対応してまいります。より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

北海道議会議員 村木中

### 村木中道議 特別インタビュー

## 農業と観光業のさらなる振興に意欲

—この4年間、どんなことに力を入れてきましたか。  
 「まずは農業振興です。いい農産物づくりは、いい土づくりから始まると言われますが、今年度は土地改良関連で約43億円が計上され、建設業における雇用創出にもつながっています。人口減少の影響などでコマ消費が減る中、海外へ売り込んでいく必要があり、道産米を直接中国に輸出できるようになったことは大きな前進です。高付加価値の農作物を生産することはもちろん、輸出環境の整備や日欧EPAやTPP11を踏まえた国内対策を進め、生産者が将来に希望を持てるように所得向上につなげていきます」

—観光振興にはどう取り組みますか。  
 「多くの外国人が北海道を訪れるようになりましたが、もっと空知の魅力を知ってほしいと思います。観光と農業体験を組み合わせたアグリツーリズムやワイナリーめぐりなど、食と観光の相乗効果で空知を元気にしていきます」

## 大雨災害対策本部が現地視察 早期普及・農業者支援に全力

自民党道連と道議会自民党議員会は、7月上旬に北海道を襲った大雨災害で各地に被害が生じたことを受け、災害対策本部を設置し、被害状況の調査ため、旭川、留萌、深川の3市を訪れました。現地を視察した村木中道議は、「被害の大きさは深刻に受け止めているし、農業者の皆さんが一早く営農に復帰できるよう最大の努力をした」と話し、早期復旧に向けて党を挙げて取り組んでいく方針を示しました。



自民党道連・道議会自民党議員会大雨災害対策本部の会議で被害状況を関係者に説明 被災者から直接要望を聴取、政策に反映

**LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主**

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23  
 電話 東京03(3358)6211(代表)(毎週火曜日発行) 定価1部108円(税込み)  
 (昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

**村木中道議のプロフィール**

1967年札幌市生まれ。岩見沢市立南小学校、光陵中学校、北海道高校卒業。岩見沢市議を3期務めた後、2011年に北海道議会議員に初当選、2015年に2期目当選。現在、北海道議会議員連盟常任幹事、同建設常任委員、同食と観光対策特別委員、自民党道連組織副委員長、同総務会常任総務、同選挙対策副委員長、同入党資格審査委員など。

**村木中事務所**

〒068-0024  
 岩見沢市4条西8丁目1番地ヤマシチ4・8ビル3F  
 Tel (0126)33-6611  
 Fax (0126)24-6668  
<http://murakiataru.jp>

## 2018年 道政報告 予算特別委員会

# 深刻化する人手不足に備え 若者の道内就職を後押し!

村木道議は第3回定例道議会の予算特別委員会で質問に立ち、深刻化する人手不足の解消を念頭に置いた「U・Iターン」による若者の道内での就職促進のほか、道政課題に関する的確な質問により前向きな答弁を多数引き出しました。

### U・Iターンの促進について (総合政策部所管、10月3日)

村木議員 道外にいる道内出身の若年者が地元で就職する「Uターン」、首都圏などの出身者が道内で就職する「Iターン」の促進を図るために、今年度新たに若年者等地域人材誘致交流促進事業を実施しているが、どんな狙いか。

移住交流担当課長 地域への関心や愛着を高めてもらうことを狙いとして、本道でデザイナーやコンサルティング会社の経営者として活躍している移住者に、北海道の魅力を直接伝えていただくなどの取り組みをしている。

村木議員 修学旅行がきっかけで、道内での大学進学や就職を決断した方が少なくないという。末永くお付き合いいただけるような関係を意識し、息の長い取り組みを展開することが必要と考えるが、見解を伺う。

地域創生局長 修学旅行の受け入れ促進を目的に、市町村の移住担当者向けの勉強会を開催するなど、地域と学校・学生の関係が強化されるよう取り組む。

村木議員 移住に関心を持つ方々を対象に、何らかの形で地域と関わりを持てるような取り組みを行う必要があるのではないか。

移住交流担当課長 地域に関心のある方々のネットワークづくりを目的とする「関係人口創出モデル事業」を11月以降、道内5市町村で実施し、効果的な事業実施に必要な情報や参加者の意向を把握していく。

村木議員 U・Iターンの実現には中長期的な戦略に基づく取り組みの積み重ねが重要であり、個々のデータをしっかり活用することによって、貴重なタイミングを確実にUターンに結び付けることができると考える。どう取り組んでいく考えか。

総合政策部長 「北海道とつながるカフェ」や関係人口の創出に向けた取り組みなどを通じ、移住関心層のニーズに応じて本道の暮らしや仕事などの旬な情報を提供するなど、将来の移住につながるよう鋭意取り組んでいく。

### その他の質問

- 総合政策部所管 SDGsの推進について(10月3日)
- 総務部所管 文書管理と業務改善について(10月4日)

## 道連・議員会が団体政策懇談会

自民党道連と道議会自民党・道民会議は各種友好団体の要望を政策に反映させるための「団体政策懇談会」を、10月中旬に開催しました。村木中道議をはじめとする多くの道議が出席し、農林水産関連団体や経済団体のほか、医療・福祉、建築土木、運輸、教育、観光など、41団体からの要望や提言を聴取しました。各団体からは台風や地震などの災害対策のほか、多岐にわたる要望・提言が寄せられ、村木道議は「一つでも多くの課題解決に向けて積極的に議会議論を進めていく」と力強く語りました。



## 北海道150年式典を盛大に開催

北海道が命名されてから150年の節目を祝う記念式典が8月5日、来道中の天皇、皇后両陛下ご臨席のもと、札幌市内で開かれ、村木中道議のほか道内各地の市町村長や道民など約2900人が出席しました。アイヌ古式舞踊、高校生による宣誓などが行われ、村木道議は「誇るべき歴史や文化を振り返り、次の50年、100年を見据えた新しい北海道づくりに取り組む気概を養う良い機会となった」と語り、活力に満ちた社会の実現に向けた決意を新たにしていました。



# 村木中フラットグラフィ



道議会本会議で正々堂々と質問



観光振興、IRの勉強会に参加



決算特別委員長として見事な議事さばき



予算特別委員会地域課題について論戦



種子法に代わる道条例制定を協議



ドイツ、ポーランドで環境に配慮したエネルギー政策を調査

